

母の日に捧ぐ

工藤和真

テノール・リサイタル

【曲目】

小松耕輔：
母

Kosuke Komatsu: Mother

アレクサンドロワ：
空を見上げて

L.Alexandrova: Look up at the sky

レオンカヴァッロ：
朝の歌

R.Leoncavallo: Mattinata

グノー：

歌劇「ファウスト」より
“この清らかな住まい”

*C.Gounod:
“Salut! demeure chaste et pure” from Faust*

プッチーニ：

歌劇「トゥーランドット」より
“誰も寝てはならぬ”

*G.Puccini:
“Nessun Dorma” from Turandot*

他

Kazuma Kudo
Tenor Recital

©FUKAYA / auraY2

2024

5.10 [金] 19:00開演(18:15開場) 紀尾井ホール

【チケット】S席4,500円 A席3,500円 学生席3,500円 (税込) 学生券のみKトレーディングのみ扱い

【チケット発売日】2023年11月1日(水)

【チケット取り扱い】イープラス <https://eplus.jp/> Kトレーディング (右記、QRコードよりお申込み)

【主催】Kトレーディング株式会社 【協賛】株式会社同和ライン

【お問い合わせ】Kトレーディング 03-6418-1008



ピアノ：河野紘子

※未就学児の入場はご遠慮願います。※やむをえない事情により内容に変更が生じる場合がございます。※当日体調の悪い方はご来場をお控え下さい。

大学院を修了し演奏家として活動を始めてから8年が過ぎました。

「歌は30歳から」と言われるように、

自分はまだまだ歌の世界では若手です。

しかし有難いことにこれまでたくさんの大きな機会をいただき、

多くの舞台に立たせていただきました。

今回その成果を披露する場として、

数々の名だたる演奏家が歴史を刻んだ紀尾井ホールで

演奏させていただけることを大変光栄に感じております。

ここまで自分を大きく育ててくれた両親への感謝の気持ちを込め、

今回のリサイタルは母の日も近いので

「母」をテーマにした曲を多く演奏する予定です。

ピアノは声楽の伴奏経験も多く、

温かみのある音を奏でてくださる河野紘子さんをお願いしました。

「音楽を聴くのに頭なんて必要ないんだ」という

ルチャーノ・パヴァロッチ氏の言葉のように、

皆さんに心で感じ取ってもらえるような歌を

歌うことが出来たらと思っています。

当日のお越しを心よりお待ち致しております。

工藤和真

工藤和真(テノール) Kazuma Kudo, Tenor

©FUKAYA / auraY2

岩手県出身。15歳の時にクラシック音楽と出会う。東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。声楽を小原一穂、佐々木朋也、市原多朗各氏に師事。第1回かわさき新人声楽コンクール第1位。第84回日本音楽コンクール声楽部門第2位。第53回日伊声楽コンクール第1位、及び歌曲賞(岡部多喜子・嶺貞子賞)を受賞。第17回東京音楽コンクール声楽部門第2位(最高位)、及び聴衆賞を受賞。東急ジルベスターコンサート2019-2020ではベートーヴェン《交響曲第九番》テノールソリストとして出演。オペラではマスカーニ作曲《カヴァレリア・ルスティカーナ》トゥリッドゥでデビューを果たした。ニッセイオペラでは《トスカ》カヴァラドッシ、《カプレーティとモンテッキ》テバルドで出演。新国立劇場では《ボリス・ゴドゥノフ》グレゴリー(偽ディミトリ)、同劇場鑑賞教室《ラ・ボエーム》ロドルフォで出演。



河野紘子(ピアノ) Hiroko Kohno, Piano

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て同大学研究科を修了。これまでに桐朋学園大学声楽科嘱託演奏員、二期会研修所ピアニストとして勤務。「東京・春・音楽祭」、水戸芸術館主催「池辺晋一郎の肖像」などに出演。水戸芸術館での演奏は池辺晋一郎 室内楽作品集Ⅲに収録されている。その他、ソプラノ歌手小林沙羅氏のアルバムなどCD録音にも多数参加。歌曲とピアノソロを交えたコンサートや、映像作品を製作するなど、企画力も高く評価されている。

Kazuma Kudo Tenor Recital